

2019年度 10月 ラオス活動報告

報告者 OISDE 理事谷野 弦

1. 活動日程：2019年10月12日（土）～16日（水）

10月12日(土)	19:30	OISDE 専門家 Lao PDR 着 (TG574)
10月13日(日)	06:30	Vientiane 発
	09:30	Phon hong 地区看護学校を視察・・・① Phon hong 地区看護学校にて看護学生への講義・② 谷野専門家：口腔粘膜疾患に関して 白井専門家：歯科衛生士の職域の紹介
	13:30	Vangvien へ移動
	15:30	Namong health center 視察 看護師に対し講義・・・③ 馬場専門家：歯科補綴に関して
	17:00	Vangvien 着
10月14日(月)	8:00	Vangvien 発
	10:30	Vientiane 県 保健局 視察・・・④ 保健局長と会談
	13:30	Phon hong 地区看護学校にて看護学生への講義・② 馬場専門家：歯科補綴に関して 小峰専門家：歯科疾患と栄養に関して
	16:00	Vientiane へ移動
10月15日(火)	08:45	Health science university へ移動
	09:00	歯周病マスターコースにて講義・・・⑤ 馬場専門家：歯科補綴に関して 小峰専門家：歯科疾患と栄養に関して
	10:00	在ラオス日本大使館表敬訪問（宮田、持田、金子）
	14:00	歯周病マスターコースにて講義・・・⑤ 谷野専門家：口腔粘膜疾患に関して 白井専門家：歯科衛生士の職域の紹介 Health science university と打ち合わせ・・・⑥
10月16日(水)	07:45	OISDE 専門家 帰国へ QV441

2. 参加者

派遣専門家：宮田、小峰、馬場、谷野、白井

OISDE 事務員：持田、金子

3.活動内容

①Phon hong 地区看護学校を視察

活動成果によるビエンチャン県での看護師学生の口腔衛生活動報告を受けた。過去に **OISDE** が実施したビエンチャン県看護学校での口腔衛生教育が現在も継続されており、看護師学校教育に歯科のカリキュラムに取り入れられている。日本人歯科衛生士によるフォローアップの講義の要請と地域保健プログラムで使用する巡回用バスの要望があった。



看護学校職員による口腔衛生活動報告

②Phon hong 地区看護学校にて看護学生への講義

10月13、14日の両日に派遣専門家より看護学生に対し以下の講義を行った。

谷野専門家：口腔粘膜疾患に関して

白井専門家：歯科衛生士の職域の紹介

馬場専門家：歯科補綴に関して

小峰専門家：歯科疾患と栄養に関して

口腔粘膜疾患は現地であるものの、看護学校での教育は行われていないとのこと。また、ラオスにデンタルナース、デンタルハイジニストといった専門職はなく歯科衛生士の業務には興味を示していた。今後も継続的な歯科分野の教育の必要性がある。



宮田理事長から演者の紹介

谷野専門家による講義

白井専門家による講義



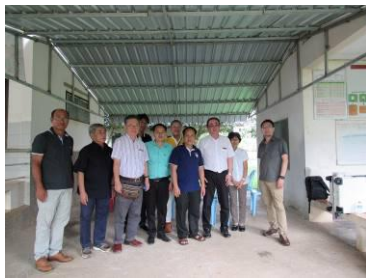
馬場専門家による講義



看護学校講堂にて

③ Namong health center 視察 馬場専門家より看護師に対し講義

以前から巡回診療などで我々が支援しているヘルスセンターの視察を行った。我々が歯科教育を行った現地看護師に歯科の状況を聞いたところ、補綴治療に興味を持っていると、このことで馬場専門家より歯科補綴の概論の講習を実際の補綴物や模型を用いて行った。当初は齶蝕や歯周病から歯科教育を行ったが、看護師が補綴に興味を持つにいたり、我々啓発効果が表れていると感じられた。



ヘルスセンターにて



馬場専門家によるマンツーマン講義

④ Vientiane 県 保健局 視察

保健局局长に現事業の進捗状況と新事業の打診を行った。



保健局局长と会談

⑤ 歯周病マスターコースにて講義

歯周病マスターコースの歯科医師に対し以下の内容で講義を行った。

馬場専門家：歯科補綴に関して

小峰専門家：歯科疾患と栄養に関して

白井専門家：歯科衛生士の職域の紹介

谷野専門家：口腔粘膜疾患に関して

本講義の対象は歯周病マスターコースの歯科医師であるが、歯周疾患を治療するためには歯周病だけでなく歯科の他分野についても熟知する必要があり今回は特別講義を行った。ラオスの歯科教育プログラムには口腔外科分野（抜歯以外）や歯科と栄養の分野などまだまだ未整備な部分があり、今後教育支援の対象となってくると考えられる。歯科補綴に関しても、**OISDE** が支援しラオスで初めての歯科技工プログラムが実施されているが歯学部教育において実習を含めまだまだ不足していると感じられた。前回のマスターコース講義時に課題を課していたものの、提出率が低くマスターコースへのモチベーションの低下を感じた。今後このような状態が続くようであるとマスターコースの中止、廃止を検討せざるを得ない。我々専門家もコース参加者のモチベーションを高めるべくアレンジを行う必要背も考えられる。



谷野専門家による講義

白井専門家による講義

小峰専門家による講義

⑥Health science university と打ち合わせ

ラオス側の出席者は **Dr. Sengphouvanh** 元学部長、**Dr. Aloungnatheth** 元副学長、**Dr. Vorasack**、**Dr. Sanpasaghut**、ラオス歯科協会秘書、**Dr. Bunin** 補綴科長、その他 4 名。**N** 連事業において整備、設立したトレーニングセンターの今後の運用に関してと次事業である歯科衛生士学校設立に関する協議を行った。



ヘルスサイエンス大学歯学部にて協議を行った

以上